

第2回 県庁別館展示施設整備検討委員会 概要

1 日 時 平成24年7月20日(金) 午後1時10分～3時30分

2 場 所 県議会議事堂 地下会議室

3 出席者

委 員：江宮隆之委員長、齋藤康彦委員、早川源委員、古屋知子委員

事務局：平井管財課長、鈴木総務部主幹、横森総括課長補佐

高橋学術文化財課長、出月文化財指導監、中山博物館学芸課長、

管財課3名、学術文化財課2名、博物館1名、生涯学習文化課1名

4 次 第

(1) 開 会

(2) 別館の現状確認

(3) 議 事

(4) その他

(5) 閉 会

5 議事の概要

(1) 展示施設のイメージ(規模・手法)について

- ・ 別館の耐震補強のため、構造上、展示室となる部屋にも耐震壁を設けなければならない。(現在、設計中)
- ・ 旧知事室については、特に、別館の文化財としての価値、雰囲気来館者に見せる。
- ・ 展示は、山梨の特色を出せなければ、ただの人物の羅列だけになってしまう。
- ・ 展示の流れやイメージ、インパクトを考えると、来館者の誘導の仕方は大事。
- ・ ビューポイントや発見があると、来館者もだんだんおもしろくなってくる。
- ・ 別館で撮影された映画の紹介をするなど、来館者に別のインパクトを与えることも大事。

(2) 対象人物の整理、検討について

- ・ 県内出身者に限らず、山梨県の発展に貢献した県外出身者も含める。
- ・ 県外で活躍したり、日本の発展に貢献した県内出身者も対象とする。
- ・ これからの時代、文化的あるいは環境分野など、社会の価値観の変化に合わせた展示も考えていかなければいけない。
- ・ ストーリー性のある括り方・見せ方の方がおもしろい。
- ・ テーマをいくつか設け、それに該当する人物を紹介する。
- ・ テーマを変えると同時に、展示の入れ替えを検討していく。

- ・ テーマを重視して見せ、より詳しいものについては他の博物館等で見てもらう方が、展示スペースも小さいのでよい。
- ・ 展示しない人物は、情報端末的なもので紹介するという方法もある。
- ・ 紫外線や温湿度管理の問題から、実物展示よりもレプリカなどの二次資料あるいは情報資料の展示にならざるを得ない。